

# 日本大学人口研究所講演会

## ■ 講演テーマ ■

『The Consequences of Hometown Regiment –  
what happened in hometown when soldiers had gone?  
郷土聯隊の帰結－兵士たちが去った後の郷土は？』

【講演者】

一橋大学経済研究所教授

神 林 龍 氏

## ■ 講演概要 ■

アジア・太平洋戦争において、日本は数百万人にのぼる人的被害を被った。しかし、この人的被害が、特定都道府県出身の特定出生コホートの男性に偏ったことはそれほど知られていない。日本における先の大戦における犠牲者は概数が判明しているに過ぎず、出身地別年齢別の詳細な公的統計が存在しないからである。このばらつきは、旧日本軍がおおむね満20歳の男性に課された徴兵検査直後に入営する「現役兵」を徴兵の主体としていたこと、陸軍の主戦力として犠牲が大きかった歩兵連隊が都道府県単位で編制される「郷土聯隊」制度をとっていたこと、さらに、米軍が太平洋戦線において軍事拠点を選択的に攻撃占領する「飛び石作戦」を採用していたことによる。この結果、先の大戦の日本における戦病死者は、特定都道府県出身の特定出生コホートの男性に集中し、戦後高度成長期がはじまる時点では、地域的に年代的に人口の男女比のばらつきが生まれていた。本稿では、このばらつきと戦後高度成長期の産業構造との関係調べ、男女比の低下は、量的には限定的であるが産業構成に影響を与え、製造業化の鈍化につながった可能性があることを示した。同時に、同じ製造業内でも、男女比の低下は女性に偏った就業構造につながり、産業内での技術選択に対して影響した可能性があることがわかった。

開催日時: 2022年9月21日(水) 18:30~20:00

開催場所: 日本大学経済学部3号館13階3131教室

参加対象: 教職員・学生 ※聴講は無料です。



日本大学人口研究所

NIHON UNIVERSITY POPULATION RESEARCH INSTITUTE (NUPRI)

日本大学経済学部研究事務課

Tel : 03-3219-3309